

学年:	4年生	Stage:	Stage I	コード:	O4203	単位:	3.3
モジュール名	小児歯科学			科目担当責任者	仲井 雪絵		
モジュール名(英字)	Pediatric Dentistry			コース名	ORD 歯科咬合医療系		
一般目標(GIO)	成長発達期にある小児の心理的、身体的、生理的特徴を理解し、顎顔面および口腔領域の正常な発育を障害する異常や口腔疾患の予防と治療を行うための基本的な知識と技能を習得する。						
ユニット:一般目標	<p>1. 小児の身体の発育</p> <p>小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法および口腔機能の発達に関する知識を修得する。</p> <p>2. 頭部・顎・顔面の発育・摂食・咀嚼・嚥下の発達</p> <p>顎・顔面・頭蓋の成長と摂食・嚥下機能の発達とを理解し、成長発達期の変化を修得する。</p> <p>3. 歯の発育と異常</p> <p>歯の発生、発育および交換の過程を理解する。</p> <p>4. 乳歯・幼若永久歯の特徴</p> <p>乳歯、幼若永久歯の形態的、物理化学的特徴について理解する。</p> <p>5. 歯列および咬合の発育と異常</p> <p>成長発達期における歯列・咬合の特徴を理解し、成長発達に伴う変化と病因や病態を修得する。</p> <p>6. 小児の齲蝕</p> <p>乳歯と幼若永久歯の齲蝕の特徴と検査法、診断法について修得する。</p> <p>7. 小児の歯冠修復</p> <p>乳歯および幼若永久歯に対する歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を理解する。</p> <p>8. 小児の歯内療法</p> <p>乳歯、幼若永久歯の齲蝕、歯髄炎の診察・検査と診断について理解し、治療法を修得する。</p> <p>9. 齲蝕の予防と進行抑制</p> <p>健全な歯列・咬合ならびに口腔機能の育成の障害となる小児の齲蝕に対して、その発生機序と効果的な予防方法、ならびに進行抑制について修得する。</p> <p>10. 小児患者への歯科的対応</p> <p>小児の歯科治療時における対応法の種類とその重要性を理解する。</p> <p>11. 咬合誘導</p> <p>成長発達期の不正咬合予防と静的および動的咬合誘導法について修得する。</p> <p>12. 小児の歯周疾患</p> <p>小児の歯周疾患および口腔粘膜疾患の種類、原因、診察、検査、診断、および処置を理解する。</p> <p>13. 小児の外科的処置</p> <p>小児の顎口腔疾患の特徴について理解し、外科的処置を習得する。</p> <p>14. 顎骨と口腔軟組織の疾患</p> <p>健全な歯列・咬合および口腔機能の育成のために、その障害となる顎骨および口腔軟組織の疾患に対する診断法と処置法について修得する。</p> <p>15. 顎関節症</p> <p>健全な歯列・咬合および口腔機能の育成の障害となる小児の顎関節症の診断・治療に必要な知識を修得する。</p> <p>16. 小児の歯の処置</p>						

### 教育目標

ディプロマポリシー	DPI-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー—CP	CP1,CP2,CP3
	b / a / b	a / b / a	a / a / b		
a:学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b:学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c:学習成果を上げるために履修する科目					
教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど					
教 1/ 小児歯科学ベーシックテキスト・クリニカルテキスト 第3版/ 新谷誠康他編集/ 永末書店 教 1/ 小児歯科学基礎・臨床実習 第3版/ 白川哲夫他編集/ 医歯薬出版					

### 評価方法

出欠席	履修ガイドに準ずる。実習については、全て出席することが必要である。 欠席した場合は、理由如何に問わず実習担当者に速やかに連絡を取り対応を求めること。 実習内容や履修状況によっては、実習の補完を行わない。						
モジュール試験(%)	70						
アクティビティ(%)	30	実習内の事前試験、実技評価(実習製作物を含む)、予習レポート評価、確認試験による総合評価					
	アクティビティ詳細(%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
		7.5	7.5	7.5			7.5
再試験の評価方法	再試験はモジュール試験の再試験として評価する。アクティビティ評価については再試験の評価に含まれず、最終的に上記の割合で総合的に評価する。						
フィードバックについて	モジュール試験後に、フィードバック講義を実施します。						
アクティブラーニング	該当						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_001_4/7_1限	2026/04/07	1		講義	12番教室	60
ユニット	小児歯科学概論 小児の心身の発育					
サブユニット	小児歯科学の意義・目的					
授業目標	1) 成長発育期における歯科医療の意義について説明できる。 2) 小児歯科学の定義について説明できる。 3) 小児歯科学の意義・目的について説明できる。					
キーワード	小児歯科学の定義, 小児歯科学の意義・目的, 成長発育期の歯科医療の意義					
担当	仲井 雪絵					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 1~7 小児歯科学の定義および意義・目的を良く理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-2-1,A-2-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修5-イ-a,必修5-イ-b,必修5-イ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_002_4/7_2限	2026/04/07	2		講義	12番教室	60
ユニット	小児の心身の発育					
サブユニット	小児期の発育総論 小児の成長					
授業目標	1) 小児の発育区分およびそれぞれの特徴について説明できる。 2) 発育に影響を与える要因を列挙できる。 3) 各器官の発育について理解し説明できる。 4) 身体の成長について説明できる。 5) 成長の評価方法について説明できる。 6) 生理的年齢について説明できる。 7) 身体発育の特徴について説明できる。 8) 各器官の発育について理解し説明できる。					
キーワード	小児期の分類, 生理的年齢, 骨年齢, 歯牙年齢, Hellmanの歯齡, Scammonの臓器発育曲線, Kaup指数, Rohrer指数, BMI, パーセンタイル値					
担当	仲井 雪絵					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 9~20 小児の全身的成長発育の特徴と評価法について理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-2-1,A-2-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修5-イ-a,必修5-イ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_003_4/7_3限	2026/04/07	3		講義	12番教室	60
ユニット	小児の心身の発育					
サブユニット	小児の発達					
授業目標	1) 原始反射について説明できる。 2) 運動機能の発達について理解し説明できる。 3) 認知の発達について説明できる。 4) 言語の発達について理解し説明できる。 5) 社会性の発達について説明できる。 6) 情緒の発達について理解し説明できる。 7) 発達の評価方法を列挙し説明できる。					
キーワード	原始反射, 運動機能の発達, 認知の発達, 言語機能の発達, 情動の発達, Bridgesの情動の分化, 社会性の発達, 発達テスト					
担当	仲井 雪絵					

学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 20~30 小児の精神発達、原始反射、運動機能・言語機能・情動・社会性の発達について理解しておくこと。 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	A-2-2-1,A-2-2-2
国試出題基準(令和5年)	必修5-イ-b,必修5-イ-c,総論Ⅱ-7-ア-a,総論Ⅱ-7-ア-b,総論Ⅱ-7-ア-c,総論Ⅱ-7-イ-a,総論Ⅱ-7-イ-b,総論Ⅱ-7-イ-c

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203.004_4/7_4限	2026/04/07	4		講義	12番教室	60
ユニット	小児の心身の発育					
サブユニット	小児の生理的特徴 小児の栄養					
授業目標	1) 生理的特徴(呼吸、体温、脈拍、血圧、血液)について理解し説明できる。 2) 小児の栄養摂取について理解し説明できる。 3) 離乳について説明できる。					
キーワード	小児の生理的特徴、小児の栄養、小児の代謝の特徴、栄養摂取法、母乳栄養、人工栄養、混合栄養、離乳、栄養状態の評価、食育					
担当	仲井 雪絵					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 31~38 小児の発達の評価法、小児の栄養方法と離乳について理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-2-1,A-2-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修5-イ-b,必修5-イ-c,総論Ⅱ-7-ア-a,総論Ⅱ-7-ア-b,総論Ⅱ-7-ア-c,総論Ⅱ-7-イ-a,総論Ⅱ-7-イ-b,総論Ⅱ-7-イ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203.005_4/8_1限	2026/04/08	1		講義	12番教室	60
ユニット	頭蓋と顎の発育					
サブユニット	頭蓋の発育 顎の発育					
授業目標	1) 脳頭蓋および顔面頭蓋の発育について説明できる。 2) 上顎骨、下顎骨の発育について説明できる。 3) 顎関節の発育について説明できる。 4) 口腔機能の発達について説明できる。					
キーワード	脳頭蓋、顔面頭蓋、頭蓋冠、頭蓋底、軟骨結合、縫合部の成長、					
担当	横山 三菜					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 39~48 頭部・顔面・顎の成長発育の特徴と摂食・嚥下機能の発達について理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-2-1,A-2-4-5					
国試出題基準(令和5年)	必修5-ウ-b,総論Ⅱ-8-ア-b,総論Ⅱ-8-イ-a,総論Ⅱ-8-ウ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203.006_4/8_2限	2026/04/08	2		講義	12番教室	60
ユニット	頭蓋と顎の発育					
サブユニット	顎関節の発育 口腔機能の発達					

授業目標	1) 摂食・咀嚼・嚥下の発達について理解し説明できる。 2) 呼吸機能の発達について説明できる。 3) 発語機能の発達について説明できる。 4) 食育について説明できる。 5) 頭蓋と顎の発育の評価法について説明できる。
キーワード	離乳, 乳児型嚥下, 成熟型嚥下, 発語機能, 腹式呼吸, 胸式呼吸, 胸腹式呼吸, 頭指数, 頭部エックス線規格写真
担当	横山 三菜
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 49~65 頭部・顔面・顎の成長発育の特徴と摂食・嚥下機能の発達について理解しておくこと。 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	A-2-4-6
国試出題基準(令和5年)	必修5-ウ-a, 必修5-ウ-b, 総論II-6-オ, 総論II-6-ウ-a, 総論II-6-エ-a, 総論II-6-エ-b, 総論II-7-ウ-a, 総論II-7-ウ-d

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_007_4/8_3限	2026/04/08	3		講義	12番教室	60
ユニット	歯の発育と異常					
サブユニット	歯の形成 歯の形成異常 歯の形態の異常					
授業目標	1) 歯の発生、発育および萌出、交換などの歯の発育段階を説明できる。 2) 歯の形成障害、歯の発育の異常について理解し説明できる。 3) 歯の形態の異常について理解し、説明できる。					
キーワード	歯胚の発育, 歯の発育段階, 先天性欠如, 過剰歯, 巨大歯, 矮小歯, 癒合歯, 双生歯, 歯内歯, プロトスタイリッド, カラベリー結節, 基底棘, 中心結節					
担当	浅里 仁					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 72~90 乳歯および永久歯の歯数, 形態, 構造の異常について理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-4-8, A-3-4-3, A-3-4-6					
国試出題基準(令和5年)	総論II-5-イ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_008_4/8_4限	2026/04/08	4		講義	12番教室	60
ユニット	歯の発育と異常					
サブユニット	歯質の異常(構造の異常) 歯の形態と構造の異常 歯の色調の異常					
授業目標	1) 歯の構造の異常について説明できる。 2) 歯の形態と構造の異常について説明できる。 3) 歯の色調の異常について理解し、説明できる。					
キーワード	エナメル質形成不全症, 象牙質形成不全症, 象牙異質異形成症, Turner歯, MIH, 先天性ポルフィリン症, 高ビリルビン血症, 重症新生児黄疸, テトラサイクリン, 歯のフッ素症, 歯髄死					
担当	浅里 仁					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 91~100 乳歯および永久歯の色調と萌出の異常について理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-3-4-3, A-3-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修5-ウ-a, 必修6-ア-b, 必修6-イ-h, 必修7-イ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

O4203_009_4/14_1限	2026/04/14	1		講義	12番教室	60
ユニット	歯列および咬合の発育と異常					
サブユニット	歯列・咬合の発育と異常					
授業目標	1) 乳歯・永久歯の萌出について説明できる。 2) 歯の萌出異常について説明できる。 3) 歯の萌出に関連した異常について説明できる。 4) 歯列・咬合の発育段階について説明できる。 5) 無歯期の顎の発育について理解し説明できる。 6) 乳歯萌出期の歯列の成長について理解し説明できる。 7) 乳歯列期の歯列・咬合の発育について理解し説明できる。 8) 混合歯列期の歯列・咬合の発育について理解し説明できる。 9) 永久歯列期の歯列・咬合の発育について理解し説明できる。					
キーワード	歯の萌出時期と萌出順序, 早期萌出, 萌出遅延, 生歯困難, 先天性歯, Riga-Fede病, 低位乳歯, 骨性癒着, 異所萌出, 萌出性嚢胞, 萌出性歯肉炎, 埋伏歯, Hellmanの歯齢, 顎間空隙, 生理的歯間空隙, 発育空隙, 蓋長空隙, 二次空隙, ターミナルプレート, リーウエイススペース, Ugly Duckling Stage					
担当	仲井 雪絵					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 101~116 歯列・咬合の発育変化についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-4-5,A-2-4-8					
国試出題基準(令和5年)	必修5-イ-b,必修5-ウ-a,総論Ⅱ-8-イ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_010_4/14_2限	2026/04/14	2		講義	12番教室	60
ユニット	歯列および咬合の発育と異常					
サブユニット	歯列・咬合を乱す異常					
授業目標	1) 歯列・咬合の発育異常の原因について説明できる。 2) 歯列・咬合に影響を及ぼす因子について説明できる。 3) 早期喪失が歯列・咬合の発育に及ぼす影響について説明できる。					
キーワード	正中離開, 上下切歯歯軸角, 歯の交換様式, 乳歯早期喪失, 晩期残存, 歯と歯列に働く力					
担当	仲井 雪絵					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 116~130 歯列・咬合の異常の原因についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修6-イ-d,必修7-イ-e,総論Ⅳ-2-ウ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_011_4/14_3限	2026/04/14	3		講義	12番教室	60
ユニット	乳歯・幼若永久歯の特徴					
サブユニット	乳歯・幼若永久歯の形態的特徴 乳歯・永久歯の物理化学的特徴					
授業目標	1) 乳歯の名称について説明できる。 2) 乳歯の役割について説明できる。 3) 乳歯の形態的特徴について説明できる。 4) 乳歯の構造的特徴, 物理・化学的特徴を説明できる。 5) 幼若永久歯の形態的特徴, 物理・化学的特徴を説明できる。 6) 乳歯と永久歯を比較した時の相違点を説明できる。					
キーワード	Zsigmondys system, Universal system, FDI方式, 代生歯, 加生歯, 生理的歯根吸収, 斜走隆線, 歯帯, トリゴニード隆線, 髓管, 咬頭数, 歯根数, 根管数					
担当	井澤 基樹					

学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 132~145 乳歯および永久歯の形態的、物理・化学的特徴について理解しておくこと。 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	A-3-4-2,A-3-4-4
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅱ-5

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_012_4/14_4限	2026/04/14	4		講義	12番教室	60
ユニット	小児の齲蝕					
サブユニット	乳歯・幼若永久歯の齲蝕					
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 齲蝕の病因論について説明できる。</li> <li>2) 小児齲蝕の現状について説明できる。</li> <li>3) 乳歯齲蝕の特徴を説明できる。</li> <li>4) 年齢別・歯種別・歯面別好発部位を説明できる。</li> <li>5) 齲蝕罹患型の分類を説明できる。</li> <li>6) 哺乳齲蝕の特徴を説明できる。</li> <li>7) 幼若永久歯齲蝕の特徴を説明できる。</li> <li>8) 齲蝕が小児の身体と精神に及ぼす局所的・全身的影響を説明できる。</li> <li>9) 齲蝕の検査法と診断について説明できる。</li> </ol>					
キーワード	齲蝕の環境要因、乳歯齲蝕の特徴、乳歯齲蝕の罹患状態、罹患型の分類、哺乳齲蝕、年齢別・歯種別・歯面別好発部位、幼若永久歯齲蝕の特徴・好発部位、診断法、電気抵抗値、齲蝕が小児の身体と精神に及ぼす局所的・全身的影響、歯性病巣感染、ICDAS、齲蝕の診査・診断、電気抵抗値による齲蝕の診断					
担当	井澤 基樹					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 148~160 乳歯および幼若永久歯の齲蝕の特徴についてよく理解しておく。事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-3-2-1,D-3-2-4,D-5-6-2					
国試出題基準(令和5年)	必修6-イ-a,必修7-イ-b,必修8-キ-a,必修9-カ-d,総論Ⅲ-2-ア-b,総論Ⅲ-1-キ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_013_4/15_1限	2026/04/15	1		講義	12番教室	60
ユニット	小児の齲蝕予防の防と進行抑制					
サブユニット	齲蝕予防の基本 細菌に対する齲蝕予防 食事・生活習慣に関連する齲蝕予防					
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小児の年齢別口腔清掃方法を説明できる。</li> <li>2) 小児に適したブラッシング方法を説明できる。</li> <li>3) 小児の各年齢に適した歯ブラシを選択できる。</li> <li>4) 小児に対する食生活指導について説明できる。</li> </ol>					
キーワード	歯口清掃指導、スクラッピング法、フォーンズ法、フロッシング、洗口、バイオフィルム、ステファンカーブ、食生活指導、食生活と齲蝕の関係、哺乳齲蝕、シュガーコントロール、フッ化物の応用、フッ化物の予防機序・効果、小窩裂溝填塞、フッ化ジアンミン銀の応用					
担当	仲井 雪絵					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 205~214 小児の齲蝕予防の方法についてよく理解しておく。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-1-2,D-5-1-3,D-5-1-4					
国試出題基準(令和5年)	必修3-ウ,各論Ⅱ-1-イ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_014_4/15_2限	2026/04/15	2		講義	12番教室	60
ユニット	小児の齲蝕予防の防と進行抑制					
サブユニット	歯質に対する齲蝕予防 齲蝕の進行抑制					

授業目標	1) 小児に対するフッ化物局所応用法を説明できる。 2) 予防填塞の適応症と術式を説明できる。 3) 齲蝕の進行抑制処置について説明できる。
キーワード	歯口清掃指導、スクラッピング法、フオーズ法、フロッシング、洗口、バイオフィーム、ステファンカーブ、食生活指導、食生活と齲蝕の関係、哺乳齲蝕、シュガーコントロール、フッ化物の応用、フッ化物の予防機序・効果、小窩裂溝填塞、フッ化ジアンミン銀の応用
担当	仲井 雪絵
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 214～222 小児の齲蝕予防および進行抑制についてよく理解しておく。 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-5-1-2,D-5-1-3,D-5-1-4
国試出題基準(令和5年)	必修3-ウ,各論Ⅱ-1-イ

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_015_4/15_3限	2026/04/15	3		講義	12番教室	60
ユニット	小児の歯冠修復					
サブユニット	乳歯・幼若永久歯の歯冠修復					
授業目標	1) 齲蝕治療の基本的術式について説明できる。 2) 乳歯の歯冠修復の目的を述べることができる。 3) 乳歯の歯冠修復の方法を選択できる。 4) 乳歯の歯冠形成時における注意事項が説明できる。 5) 乳歯の歯冠修復法の種類を挙げ説明できる。 6) 幼若永久歯の歯冠修復の目的を述べることができる。 7) 幼若永久歯の歯冠修復の方法を選択できる。 8) 幼若永久歯の歯冠形成時における注意事項が説明できる。 9) 幼若永久歯の歯冠修復法の種類を挙げ説明できる。					
キーワード	修復法・修復材の種類と選択、乳歯の歯冠修復、乳歯の窩洞形成時の注意事項、乳歯のコンポジットレジン修復、乳歯のインレー修復、Willettの窩洞、既製金属冠修復、幼若永久歯の齲蝕に対する処置、初期齲蝕に対する処置、萌出途中における齲蝕処置					
担当	中島 知佳子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 223~246 乳歯および幼若永久歯の歯冠修復法についてよく理解しておくこと。事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-6-3					
国試出題基準(令和5年)	必修8-キ-a,必修11-ケ-b,総論Ⅶ-2-ア-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_016_4/15_4限	2026/04/15	4		講義	12番教室	60
ユニット	小児の歯周組織と歯周疾患					
サブユニット	正常な小児の歯周組織 小児・若年者の歯周疾患					
授業目標	1) 健全な小児の歯周組織の構造を説明できる。 2) 小児・若年者の歯周疾患の特徴について説明できる。 3) 小児の歯周疾患の診断と処置について説明できる。 4) 歯列不正に関わる歯周疾患の予防と処置について説明できる。					
キーワード	小児の歯周組織の特徴、歯の萌出・交換と歯肉の変化、歯肉炎・歯周炎の罹患状況、小児の歯周疾患の特徴、萌出性嚢胞・血腫、単純性(不潔性)歯肉炎、萌出性歯肉炎、思春期性歯肉炎、歯肉退縮、咬合性外傷、疱疹性歯肉口内炎、口呼吸による歯肉炎、歯肉増殖、侵襲性歯周炎、Down症候群、低ホスファターゼ症、Papillon-Lefevre症候群、無カタラーゼ血症					
担当	中島 知佳子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 161-177 小児の正常な歯周組織の特徴と歯肉炎・歯周炎の特徴についてよく理解しておくこと。事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-3-4-7,D-5-6-5					
国試出題基準(令和5年)	必修6-イ-c,必修7-イ-d,必修7-イ-f,必修7-ウ-c,必修7-ウ-e,必修8-キ-c,必修7-エ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_017_4/21_1限	2026/04/21	1		講義	12番教室	60

ユニット	小児の歯内療法
サブユニット	乳歯の歯内療法
授業目標	1) 乳歯の歯髄疾患を列挙し説明できる。 2) 乳歯の歯髄疾患を検査し診断できる。 3) 乳歯の歯髄疾患の処置法を選択できる。 4) 乳歯の歯髄疾患の処置法について説明できる。 5) 乳歯の根尖性歯周炎を診査し診断できる。 6) 乳歯の根尖性歯周炎に対する処置について説明できる。
キーワード	乳歯歯髄炎の分類、乳歯の歯内療法、歯髄鎮静療法、直接覆髄法、間接覆髄法、歯髄切断法、抜髄法、感染根管治療、乳歯歯根の安定期、根管治療の適応期、乳歯の根管充填、髄管、内部吸収
担当	中村 州臣
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 247~269 乳歯の歯髄炎、根尖製歯周炎に対する処置についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-5-6-4
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-2-ウ-a,各論Ⅱ-2-ウ-b,各論Ⅱ-2-ウ-c,各論Ⅱ-2-ウ-d

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_018_4/21_2限	2026/04/21	2		講義	12番教室	60
ユニット	小児の歯内療法					
サブユニット	幼若永久歯の歯内療法					
授業目標	1) 幼若永久歯の歯内療法の目的について説明できる。 2) 幼若永久歯の歯髄疾患を検査し診断できる。 3) 幼若永久歯の歯髄疾患の処置法について説明できる。 4) 幼若永久歯の歯髄疾患の処置法を選択できる。 5) 幼若永久歯の歯髄疾患の処置法について説明できる。 6) 幼若永久歯の根尖性歯周炎に対する処置について説明できる。					
キーワード	暫間的間接覆髄法(IPC法)、根未完成歯の歯根形成と治療法、アペキシゲネーシス、アペキシフィケーション					
担当	中村 州臣					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 270~279 幼若永久歯の歯髄炎、根尖製歯周炎に対する処置についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-6-4					
国試出題基準(令和5年)	必修7-イ-c,必修8-キ-b,必修11-ケ-c,総論Ⅳ-2-ア,総論Ⅶ-2-ア-b,各論Ⅱ-2-ウ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_019_4/21_3限	2026/04/21	3		講義	12番教室	60
ユニット	小児患者への歯科的対応					
サブユニット	小児・保護者・歯科医師の関係 歯科的対応法の実際					
授業目標	1) 小児の歯科的対応に必要な心理について説明できる。 2) 小児、保護者、歯科医の関係について説明できる。 3) 小児患者の一般的対応について理解し説明できる。 4) 小児患者の年齢別対応法について説明できる。 5) 学習理論について説明できる。					
キーワード	Franklの行動分類、小児歯科三角、母子分離、年齢別対応法、学習理論					
担当	仲井 雪絵					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 179~184 小児患者に対する年齢別対応法、一般的対応法についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-2-1-2-1					

国試出題基準(令和5年)	総論V-2-I,総論V-2-E
--------------	-----------------

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_020_4/21_4限	2026/04/21	4		講義	12番教室	60
ユニット	小児患者への歯科的対応					
サブユニット	行動変容技法 その他の対応法					
授業目標	1) 行動変容技法(行動療法)について説明できる。 2) 小児患者の抑制的対応について説明できる。 3) 前投薬、精神鎮静法、全身麻酔法について説明できる。					
キーワード	行動変容法(行動療法)、系統的脱感作法、TSD法、モデリング法、オペラント条件付け法、トークンエコノミー法、レスポンスコスト法、タイムアウト法、笑気吸入鎮静法、抑制的対応法、全身麻酔法、前投薬					
担当	仲井 雪絵					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 184~190 小児患者に対する行動変容技法、抑制的対応法、精神鎮静法、全身麻酔法についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-2-1-2-1					
国試出題基準(令和5年)	総論V-2-I,総論V-2-E					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_021_4/22_1限	2026/04/22	1		講義	12番教室	60
ユニット	咬合誘導					
サブユニット	咬合誘導の概念 静的咬合誘導					
授業目標	1) 咬合誘導の概念を説明できる。 2) 歯列・咬合の診察と分析法について説明できる。 3) 歯列・咬合を乱す異常に対して理解し処置方法を説明できる。4) 保険装置の種類、適応症および使用上の留意点を説明できる。 5) 保険装置を選択できる。					
キーワード	保険装置、クラウンループ・バンドループ、ディスタルシュー、リンガルアーチ、可撤保険装置					
担当	井上 吉登					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 335~351 保険装置の分類と各装置の適応症についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-6-8,D-5-6-9					
国試出題基準(令和5年)	必修5-ウ-a,各論I-5-7,各論I-5-ウ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_022_4/22_2限	2026/04/22	2		講義	12番教室	60
ユニット	咬合誘導					
サブユニット	動的咬合誘導					
授業目標	1) 動的咬合誘導について診査と診断ができる。 2) 乳歯列期の咬合誘導について説明できる。 3) 混合歯列期の咬合誘導について説明できる。 4) 外科的誘導法について説明できる。					
キーワード	混合歯列模型分析法、空隙管理 永久歯萌出余地不足に対する処置、トリミング法・ディスクング法、咬合調整法、スペースリゲイニング、歯列弓の拡大、咬合誘導のための抜歯、外科的咬合誘導					
担当	井上 吉登					

学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 351～365 乳歯列期、混合歯列期の動的咬合誘導についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-5-6-8
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅲ-2-イ-a,総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅰ-5

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_023_4/22_3限	2026/04/22	3		講義	12番教室	60
ユニット	小児の外科的処置					
サブユニット	局所麻酔 乳歯の抜歯、過剰歯の抜歯 リスクマネージメント 小児への薬物療法					
授業目標	1) 局所麻酔について目的、作用、種類を理解し使用できる。 2) 乳歯の抜歯について適応症、処置法、偶発症を説明できる。 3) 過剰歯の抜歯、埋伏歯の開窓・牽引誘導について理解し説明できる。 4) 小児の薬理特性について理解し説明できる。 5) 小児の薬物投与量、投与方法について説明できる。					
キーワード	小児の局所麻酔、表面麻酔、浸潤麻酔、伝達麻酔、局所麻酔の術式、偶発症、乳歯抜歯の適応症、禁忌症、留意点、抜歯に用いる器具、抜歯鉗子、ヘーベル、乳歯抜歯の術式・偶発症、小児の薬物療法、小児の投薬量、前投薬					
担当	中島 知佳子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p P281～298 小児の局所麻酔法と乳歯抜歯の適応症、術式、偶発症についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-4-1,D-5-4-3,D-5-4-5					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-8-イ-d,総論Ⅶ-4-ア-f,総論Ⅶ-4-ウ-a,総論Ⅶ-8-ア					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_024_4/22_4限	2026/04/22	4		講義	12番教室	60
ユニット	小児の歯の外傷					
サブユニット	小児の歯の外傷の疫学 歯の外傷の分類 外傷の診察・診断・処置、経過 歯の外傷の後遺症、予防					
授業目標	1) 小児外傷歯の好発部位、好発年齢、原因、男女比について説明できる。 2) 外傷歯を診査し診断できる。 3) 外傷歯の分類を理解し説明できる。 4) 外傷歯の処置方法を理解し説明できる。 5) 小児の歯の外傷による影響について説明できる。 6) 小児の外傷の予防法について説明できる。					
キーワード	乳歯外傷の好発部位、好発年齢、受傷原因 乳歯外傷による後継永久歯への影響 永久歯外傷の好発部位、好発年齢、受傷原因、学童期の歯の外傷の特徴 小児の歯の外傷とその処置、歯冠破折、脱臼、埋入、完全脱落、歯根破折、歯の再植、児童虐待					
担当	中村 州臣					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 313～334 乳歯、幼若永久歯の外傷の特徴と処置についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-6-6					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅰ-4-オ,各論Ⅰ-4-ア					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_025.4/28.1限	2026/04/28	1		実習	臨床実習室1	60
ユニット	小児の歯内療法					
サブユニット	乳歯の歯内療法 確認テスト(小テスト)					
授業目標	1) 乳歯歯髄の形態的特徴について説明できる。 2) 生理的歯根吸収に伴う歯髄の退行変性について説明できる。 3) 乳歯の歯根数、根管数、歯根形態について説明できる。					
キーワード	乳歯の歯根数・根管数、乳歯歯根の安定期、髄管					
担当	仲井 雪絵,井澤 基樹,井上 吉登,大久保 孝一郎,大谷 茉衣子,大西 武,大森 弘子,大山 洋,加藤 ともみ,熊坂 純雄,黒田 梨乃,小松 太一,小森 令賀,齋藤 奈々子,坂見 嵯由里,重根 充,杉村 和昭,竹越 史子,時安 喜彦,中島 知佳子,中村 州臣,中村 朋美,檜山 雄彦,祝部 竜造,松澤 光洋,松原 聡,保田 将史,山田 直美,横山 三菜					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 247~269 実習書 p 179?192 小児の歯内療法についてよく理解しておくこと。事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-6-4					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-2-ウb					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_026.4/28.2限	2026/04/28	2		実習	臨床実習室1	60
ユニット	小児の歯内療法					
サブユニット	乳歯の歯内療法					
授業目標	1) 歯髄切断法の適応症、術式、使用器具・薬剤について説明できる。 2) 歯髄切断法における薬剤の作用機序と治癒機転について説明できる。 3) 患児の安全や痛み配慮した術式で処置を実施できる。					
キーワード	内部吸収、水酸化カルシウム製剤、歯髄切断後の治癒機転、歯髄の退行変性、生理的歯根吸収					
担当	仲井 雪絵,井澤 基樹,井上 吉登,大久保 孝一郎,大谷 茉衣子,大西 武,大森 弘子,大山 洋,加藤 ともみ,熊坂 純雄,黒田 梨乃,小松 太一,小森 令賀,齋藤 奈々子,坂見 嵯由里,重根 充,杉村 和昭,竹越 史子,時安 喜彦,中島 知佳子,中村 州臣,中村 朋美,檜山 雄彦,祝部 竜造,松澤 光洋,松原 聡,保田 将史,山田 直美,横山 三菜					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 247~269 実習書 p 179?192 小児の歯内療法についてよく理解しておくこと。事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-6-4					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-2-ウb					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_027.4/28.3限	2026/04/28	3		実習	臨床実習室1	60
ユニット	小児の歯冠修復					
サブユニット	乳歯の既製金属冠修復 確認テスト・小テスト					
授業目標	1) 支台歯に適した既製金属冠を選択できる。 2) 乳歯既製金属冠を支台歯に適合できる。 3) 既製金属冠を応用した保険装置を説明できる。					
キーワード	乳歯既製金属冠修復、既製金属冠の適応症、術式、使用器材					
担当	仲井 雪絵,井澤 基樹,井上 吉登,大久保 孝一郎,大谷 茉衣子,大西 武,大森 弘子,大山 洋,加藤 ともみ,熊坂 純雄,黒田 梨乃,小松 太一,小森 令賀,齋藤 奈々子,坂見 嵯由里,重根 充,杉村 和昭,竹越 史子,時安 喜彦,中島 知佳子,中村 州臣,中村 朋美,檜山 雄彦,祝部 竜造,松澤 光洋,松原 聡,保田 将史,山田 直美,横山 三菜					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 237?240 実習書 p 45~52, 62?67 小児の歯冠修復および既製金属冠を応用した保険装置についてよく理解しておくこと。 事後学修 実習内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-6-3					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-1-ウ-a,各論Ⅱ-1-エ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_028_4/28_4限	2026/04/28	4		実習	臨床実習室1	60
ユニット	小児の歯冠修復					
サブユニット	乳歯の既製金属冠修復 確認テスト・小テスト					
授業目標	1) クラウンループ製作のための準備ができる。 2) 患児の安全性や疼痛に配慮した術式を習得する。					
キーワード	乳歯既製金属冠修復、鑄造冠との比較、利点・欠点、既製金属冠を応用した保険装置					
担当	仲井 雪絵,井澤 基樹,井上 吉登,大久保 孝一郎,大谷 茉衣子,大西 武,大森 弘子,大山 洋,加藤 ともみ,熊坂 純雄,黒田 梨乃,小松 太一,小森 令賀,齋藤 奈々子,坂見 嵯由里,重根 充,杉村 和昭,竹越 史子,時安 喜彦,中島 知佳子,中村 州臣,中村 朋美,檜山 雄彦,祝部 竜造,松澤 光洋,松原 聡,保田 将史,山田 直美,横山 三菜					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 232?235、P 336~338 実習書 p 45~52、62?67 小児の歯冠修復および既製金属冠を応用した保険装置についてよく理解しておくこと。 事後学修 実習内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-6-3,D-5-6-8					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-2-ア-a,総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅱ-1-エ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_029_5/1_1限	2026/05/01	1		講義	12番教室	60
ユニット	摂食・嚥下機能の発達障害					
サブユニット	小児の摂食・嚥下発達、発達障害の対応、小児の窒息・誤嚥への対処					
授業目標	1) 小児の摂食・嚥下発達について説明できる。 2) 小児の摂食・嚥下発達障害の対応について説明できる。 3) 小児の窒息・誤嚥への対応について説明できる。					
キーワード	摂食・嚥下機能の発達・機能獲得段階、小児の摂食・嚥下障害の特徴・原因、以上嚥下癖、咀嚼障害、中枢神経・末梢神経障害・筋障害、脳性麻痺、Down症候群、筋ジストロフィー、乳幼児経管栄養依存症、唇顎口蓋裂、小顎症、先天性担当閉鎖症、嚥下造影(VF)、嚥下内視鏡検査(VE)、摂食嚥下機能発達訓練、窒息・誤嚥の予防・対処法					
担当	浅里 仁					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 367~376 小児の摂食・嚥下発達、発達障害の対応、小児の窒息・誤嚥への対処についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-2-1,A-2-4-5,A-3-2-4					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅴ-8-ア-a,各論Ⅴ-8-ア-b,各論Ⅴ-8-イ-a,各論Ⅴ-8-イ-b,各論Ⅴ-8-イ-c,各論Ⅴ-8-ウ,各論Ⅴ-8-エ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_030_5/1_2限	2026/05/01	2		講義	12番教室	60
ユニット	心身障害児への歯科的対応					
サブユニット	心身障害児の特徴と歯科的対応					
授業目標	1) 心身障害児の定義を説明できる。 2) 心身障害児歯科診療の問題点について説明できる。 3) 心身障害の種類と全身所見・口腔内所見について理解し説明できる。 4) 心身障害児の歯科的対応について説明できる。 5) 心身障害児の歯科診療計画を立案できる。					
キーワード	障害の種類と特徴 精神発達遅滞、Down症候群、脳性麻痺、自閉症・広汎性発達障害、てんかん、口唇・口蓋裂、障害児への歯科的対応、TECCHアプローチ					
担当	浅里 仁					

学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 387~404 心身障害の種類と特徴(全身の所見、口腔所見)、歯科的対応についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-5-8-1,D-5-8-2,D-5-8-3,D-5-8-4,D-5-8-5
国試出題基準(令和5年)	必修2-ア-a,必修6-ア-b,必修6-イ-h,必修6-イ-p,総論V-2-オ

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_031_5/1_3限	2026/05/01	3		講義	12番教室	60
ユニット	顎骨と口腔軟組織の疾患、顎関節症					
サブユニット	顎骨の疾患 口腔軟組織疾患 顎関節の発育と異常					
授業目標	1) 小児の顎および口腔軟組織の異常と疾患について理解し、説明できる。 2) 顎、口腔の急性炎症について理解し、説明できる。 3) 小帯の異常と処置について理解し、説明できる。 4) 口唇、歯肉、舌、粘膜の異常と処置について理解し、説明できる。 5) 顎骨の嚢胞、腫瘍について理解し、説明できる。 6) 小児の顎関節症の疫学的特徴を説明できる。 7) 小児の顎関節症の臨床的特徴を説明できる。 8) 小児の顎関節症の管理を説明できる。					
キーワード	上唇小帯の異常、Blanch test、舌小帯の異常、口唇の異常、歯肉の異常、舌の異常 粘膜の病変、口内炎、疱疹性歯肉口内炎、カンジダ症、手足口病、ヘルパンギーナ、Bednarアфта、Koplik斑(麻疹)、流行性耳下腺炎、血管種、リンパ管腫 顎関節の解剖・発育変化、顎関節の運動と筋、顎関節症の定義・症状、顎関節症の病因、顎口腔機能検査、診断基準と病態分類、家庭療法、スプリント療法、理学療法、薬物療法					
担当	井上 吉登					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 299~312 小児の顎・口腔疾患と軟組織の異常の特徴と対応についてよく理解しておくこと。 教科書 p 377~386 小児の顎関節症についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-4-5,A-3-2-8,D-5-6-7					
国試出題基準(令和5年)	必修6-イ-l,総論II-8-ア-b,総論IV-2-カ,各論III-1-ア-c,各論III-1-ア-d,各論III-1-ク-a,各論III-1-ク-j,各論III-1-ク-s,各論III-1-ク-u,各論I-3-イ-a,各論I-3-イ-b,各論I-3-イ-c,各論I-3-イ-d,各論I-3-イ-e,各論I-3-ウ-a,各論I-3-ウ-b,各論I-3-ウ-c,各論I-3-ウ-d,各論I-3-ウ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_032_5/1_4限	2026/05/01	4		講義	12番教室	60
ユニット	小児の注意すべき全身疾患と口腔所見1					
サブユニット	小児の先天異常(遺伝性疾患、染色体異常)					
授業目標	1) 小児の遺伝性疾患について理解し説明できる。 2) 小児の染色体異常について理解し説明できる。					
キーワード	先天異常、遺伝性疾患、無汗型外胚葉異形成症、骨形成不全症、鎖骨頭蓋骨異形成症、先天性表皮水疱症、好中球減少症、低ホスファターゼ症、Papillon-Lefevre症候群、Pierre-Robin症候群、Marfan症候群、Treacher-Collins症候群 染色体異常、Down症候群、Turner症候群、Klinefelter症候群、18トリソミー症候群、猫鳴き症候群					
担当	井上 吉登					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 405?414 小児にみられる各種先天異常(遺伝性疾患、染色体異常)の特徴についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-4-6,A-5-1-1					
国試出題基準(令和5年)	必修6-ア-b,必修6-イ-h,総論III-2-ア-a,総論III-1-ア,各論I-1-イ-a,各論I-1-イ-b,各論I-1-イ-c,各論I-1-イ-d,各論I-1-イ-e,各論I-1-イ-f,各論I-1-ウ-a,各論I-1-ウ-b,各論I-1-ウ-c,各論I-1-ウ-d,各論I-1-ウ-e,各論I-1-イ-a,各論I-1-イ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_033_5/12_1限	2026/05/12	1		実習	臨床実習室1	60
ユニット	咬合誘導					
サブユニット	固定式保隙装置の製作					
授業目標	1) クラウンループの設計ができる。 2) ワイヤーの屈曲ができる。 3) 既製金属冠にループを適切にロウ着できる。 4) ワイヤーのロウ着部を研磨できる。					
キーワード	クラウンループの適応症、設計、ループの屈曲方法、ロウ着操作					
担当	仲井 雪絵,井澤 基樹,井上 吉登,大久保 孝一郎,大谷 茉衣子,大西 武,大森 弘子,大山 洋,加藤 ともみ,熊坂 純雄,黒田 梨乃,小松 太一,小森 令賀,齋藤 奈々子,坂見 嵯由里,重根 充,杉村 和昭,竹越 史子,時安 喜彦,中島 知佳子,中村 州臣,中村 朋美,檜山 雄彦,祝部 竜造,松澤 光洋,松原 聡,保田 将史,山田 直美,横山 三菜					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 322?324 実習書 p 73?78 保隙装置についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-6-8					
国試出題基準(令和5年)	必修5-ウ-a,必修6-イ-d,各論 I-10-ア-a,各論 I-10-ア-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_034_5/12_2限	2026/05/12	2		実習	臨床実習室1	60
ユニット	咬合誘導					
サブユニット	固定式保隙装置の製作					
授業目標	1) クラウンループの設計ができる。 2) ワイヤーの屈曲ができる。 3) 既製金属冠にループを適切にロウ着できる。 5) ワイヤーのロウ着部を研磨できる。					
キーワード	クラウンループの適応症、設計、ループの屈曲方法、ロウ着操作					
担当	仲井 雪絵,井澤 基樹,井上 吉登,大久保 孝一郎,大谷 茉衣子,大西 武,大森 弘子,大山 洋,加藤 ともみ,熊坂 純雄,黒田 梨乃,小松 太一,小森 令賀,齋藤 奈々子,坂見 嵯由里,重根 充,杉村 和昭,竹越 史子,時安 喜彦,中島 知佳子,中村 州臣,中村 朋美,檜山 雄彦,祝部 竜造,松澤 光洋,松原 聡,保田 将史,山田 直美,横山 三菜					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 322?324 実習書 p 73?78 保隙装置についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-6-8					
国試出題基準(令和5年)	必修5-ウ-a,必修6-イ-d,各論 I-10-ア-a,各論 I-10-ア-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_035_5/12_3限	2026/05/12	3		実習	臨床実習室1	60
ユニット	咬合誘導					
サブユニット	固定式保隙装置の製作					
授業目標	1) クラウンループを患児の口腔内に試適・調整できる。 2) クラウンループを支台歯に合着できる。 3) 患児の安全性や疼痛に配慮した術式を習得する。					
キーワード	クラウンループの適応症、設計、ループの屈曲方法、ロウ着操作					
担当	仲井 雪絵,井澤 基樹,井上 吉登,大久保 孝一郎,大谷 茉衣子,大西 武,大森 弘子,大山 洋,加藤 ともみ,熊坂 純雄,黒田 梨乃,小松 太一,小森 令賀,齋藤 奈々子,坂見 嵯由里,重根 充,杉村 和昭,竹越 史子,時安 喜彦,中島 知佳子,中村 州臣,中村 朋美,檜山 雄彦,祝部 竜造,松澤 光洋,松原 聡,保田 将史,山田 直美,横山 三菜					

学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 322?324 実習書 p 73?78 保険装置についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-5-6-8
国試出題基準(令和5年)	必修5-ウ-a,必修6-イ-d,各論 I-10-ア-a,各論 I-10-ア-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_036_5/12_4限	2026/05/12	4		実習	臨床実習室1	60
ユニット	咬合誘導					
サブユニット	固定式保険装置の保護者への説明					
授業目標	1) クラウンループの目的を説明できる。 2) クラウンループ装着後の留意事項を説明できる。					
キーワード	クラウンループの適応症、設計、使用上の注意点					
担当	仲井 雪絵,井澤 基樹,井上 吉登,大久保 孝一郎,大谷 茉衣子,大西 武,大森 弘子,大山 洋,加藤 ともみ,熊坂 純雄,黒田 梨乃,小松 太一,小森 令賀,齋藤 奈々子,坂見 嵯由里,重根 充,杉村 和昭,竹越 史子,時安 喜彦,中島 知佳子,中村 州臣,中村 朋美,檜山 雄彦,祝部 竜造,松澤 光洋,松原 聡,保田 将史,山田 直美,横山 三菜					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 322?324 実習書 p 73?78 保険装置についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-6-8					
国試出題基準(令和5年)	必修5-ウ-a,必修6-イ-d,各論 I-10-ア-a,各論 I-10-ア-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_037_5/13_1限	2026/05/13	1		講義	12番教室	60
ユニット	小児の注意すべき全身疾患と口腔所見2					
サブユニット	感染症 小児の免疫疾患					
授業目標	1) 小児の感染症について理解し説明できる。 2) 小児の免疫疾患について理解し説明できる。 3) 小児の内分泌疾患について理解し説明できる。					
キーワード	感染症、手足口病、水痘、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、ウイルス性肝炎、先天性梅毒、後天性免疫不全症、単純疱疹ウイルス感染症(HSV)、帯状疱疹、ヘルパンギーナ、免疫性疾患、湿疹、アトピー、蕁麻疹、リウマチ、内分泌疾患、甲状腺機能亢進・低下症、副甲状腺機能亢進症・低下症					
担当	浅里 仁					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 414?422 小児ににられる感染症、免疫疾患、内分泌異常の特徴についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-1,A-4-1-2,A-4-1-3					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-4-イ-a,各論Ⅲ-4-イ-b,各論Ⅲ-4-イ-c,各論Ⅲ-4-イ-d,各論Ⅲ-4-イ-e,各論Ⅲ-4-イ-f,各論Ⅲ-4-イ-g,各論Ⅲ-4-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_038_5/13_2限	2026/05/13	2		講義	12番教室	60
ユニット	小児の注意すべき全身疾患と口腔所見3, 児童虐待					
サブユニット	小児の血液疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、腎疾患、代謝障害、ビタミン欠乏症、児童虐待の定義、徴候、特徴、対応					



授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_041.5/19_1限	2026/05/19	1		実習	臨床実習室1	60
ユニット	小児の齲蝕予防					
サブユニット	齲蝕予防(フッ化物歯面塗布・予防填塞)					
授業目標	1)フッ化物局所応用による小児の齲蝕予防に必要な基本的態度、知識、技能を習得し、フッ化物塗布を実施できる。 2)フッ化物歯面塗布に必要な器具の準備ができる。 3)フッ化物歯面塗布の術式を説明できる。 4)簡易防湿ができる。 5)フッ化物の塗布ができる。 6)フッ化物塗布後の説明ができる。 7)予防填塞による小児の齲蝕予防に必要な基本的態度、知識、技能を習得し、予防填塞を実施できる。 8)窩溝填塞に必要な器具の準備ができる。 9)窩溝填塞の適応症を説明できる。 10)窩溝填塞の術式について説明できる。 11)ラバーダム防湿ができる。 12)小窩裂溝填塞ができる。 13)小窩裂溝填塞後の説明ができる。					
キーワード	フッ化物の局所応用、フッ化物の予防機序・効果、簡易防湿 小窩裂溝填塞の意義・目的・術式、使用器具、小窩裂溝填塞の材料・術式					
担当	仲井 雪絵,井澤 基樹,井上 吉登,大久保 孝一郎,大谷 茉衣子,大西 武,大森 弘子,大山 洋,加藤 ともみ,熊坂 純雄,黒田 梨乃,小松 太一,小森 令賀,齋藤 奈々子,坂見 嵯由里,重根 充,杉村 和昭,竹越 史子,時安 喜彦,中島 知佳子,中村 州臣,中村 朋美,檜山 雄彦,祝部 竜造,松澤 光洋,松原 聡,保田 将史,山田 直美,横山 三菜					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 192-195 実習書 p 153-155 フッ化物歯面塗布、予防填塞についてよく理解しておく。 事後学修 実習内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-1-2,D-5-1-3,D-5-1-4					
国試出題基準(令和5年)	必修3-ウ-a,必修3-ウ-b,必修3-ウ-c,必修3-エ-a,各論Ⅱ-1-1-イ-c,各論Ⅱ-1-1-イ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_042.5/19_2限	2026/05/19	2		実習	臨床実習室1	60
ユニット	小児の齲蝕予防					
サブユニット	齲蝕予防 (患者への説明・指導)					
授業目標	1)乳歯・幼若永久歯に発生する齲蝕の原因と齲蝕が発生しやすい理由を説明できる。 2)年齢別歯面清掃方法、フォーンズ法、スクラビング法、歯ブラシの選択基準 3)乳歯・幼若永久歯の齲蝕予防方法を説明できる。 4)保護者に対して年齢に合わせた適切な口腔衛生指導ができる。					
キーワード	年齢別歯面清掃方法、フォーンズ法、スクラビング法、歯ブラシの選択基準					
担当	仲井 雪絵,井澤 基樹,井上 吉登,大久保 孝一郎,大谷 茉衣子,大西 武,大森 弘子,大山 洋,加藤 ともみ,熊坂 純雄,黒田 梨乃,小松 太一,小森 令賀,齋藤 奈々子,坂見 嵯由里,重根 充,杉村 和昭,竹越 史子,時安 喜彦,中島 知佳子,中村 州臣,中村 朋美,檜山 雄彦,祝部 竜造,松澤 光洋,松原 聡,保田 将史,山田 直美,横山 三菜					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 196-197 実習書 p 155-156 小児および保護者に対する口腔清掃指導についてよく理解しておく。 事後学修 実習内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-1-2,D-5-1-3,D-5-1-4					
国試出題基準(令和5年)	必修3-ウ-a,必修3-ウ-b,必修3-ウ-c,必修3-エ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_043.5/19_3限	2026/05/19	3		実習	臨床実習室1	60
ユニット	小児の歯の外傷					

サブユニット	乳前歯コンポジットレジン冠(クラウンフォーム)による修復
授業目標	1)外傷の好発年齢、好発部位および外傷の種類を説明できる。 2)外傷に対する処置方針が説明できる。 3)前歯のコンポジットレジン修復で使用する器材が準備できる。 4) 患児の安全や痛みに配慮した術式で前歯のコンポジットレジン修復を実施できる。
キーワード	乳歯外傷の好発部位、好発年齢、受傷原因、乳前歯の歯冠破折
担当	仲井 雪絵,井澤 基樹,井上 吉登,大久保 孝一郎,大谷 茉衣子,大西 武,大森 弘子,大山 洋,加藤 ともみ,熊坂 純雄,黒田 梨乃,小松 太一,小森 令賀,齋藤 奈々子,坂見 嵯由里,重根 充,杉村 和昭,竹越 史子,時安 喜彦,中島 知佳子,中村 州臣,中村 朋美,檀山 雄彦,祝部 竜造,松澤 光洋,松原 聡,保田 将史,山田 直美,横山 三菜
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 313~334 実習書 p 175~177 204~209 外傷による歯冠破折歯および脱臼歯に対する処置についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-5-6-6
国試出題基準(令和5年)	各論 I-4-7

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_044.5/19_4限	2026/05/19	4		実習	臨床実習室1	60
ユニット	小児の歯の外傷					
サブユニット	乳前歯脱臼歯の処置					
授業目標	1)外傷の好発年齢、好発部位および外傷の種類を説明できる。 2)外傷に対する処置方針が説明できる。 3)外傷性脱臼歯の再植固定で使用する器材が準備できる。 4) 患児の安全や痛みに配慮した術式で外傷性脱臼歯の処置を実施できる。					
キーワード	乳歯外傷の好発部位、好発年齢、受傷原因、外傷性脱臼					
担当	仲井 雪絵,井澤 基樹,井上 吉登,大久保 孝一郎,大谷 茉衣子,大西 武,大森 弘子,大山 洋,加藤 ともみ,熊坂 純雄,黒田 梨乃,小松 太一,小森 令賀,齋藤 奈々子,坂見 嵯由里,重根 充,杉村 和昭,竹越 史子,時安 喜彦,中島 知佳子,中村 州臣,中村 朋美,檀山 雄彦,祝部 竜造,松澤 光洋,松原 聡,保田 将史,山田 直美,横山 三菜					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 313~334 実習書 p 175~177 204~209 外傷による歯冠破折歯および脱臼歯に対する処置についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-6-6					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-4-7					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_045.5/20_1限	2026/05/20	1		実習	31番教室,臨床実習室 2,12番教室	60
ユニット	実習(振り返り1)					
サブユニット						
授業目標						
キーワード						
担当	仲井 雪絵,井上 吉登,加藤 ともみ,黒田 梨乃,齋藤 奈々子,中島 知佳子,中村 州臣					
学修範囲(事前事後学修)						
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_046.5/20_2限	2026/05/20	2		実習	31番教室,臨床実習室 2,12番教室	60
ユニット	実習(振り返り2)					

サブユニット	
授業目標	
キーワード	
担当	仲井 雪絵,井上 吉登,加藤 ともみ,黒田 梨乃,齋藤 奈々子,中島 知佳子,中村 州臣
学修範囲(事前事後学修)	
コアカリ(令和4年)	
国試出題基準(令和5年)	

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_047_5/20_3限	2026/05/20	3		試験	31番教室,12番教室	60
ユニット	確認試験					
サブユニット						
授業目標						
キーワード						
担当	仲井 雪絵,井上 吉登,加藤 ともみ,黒田 梨乃,齋藤 奈々子,中島 知佳子,中村 州臣					
学修範囲(事前事後学修)						
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4203_048_5/20_4限	2026/05/20	4		試験	31番教室,12番教室	60
ユニット	実習確認試験					
サブユニット						
授業目標						
キーワード						
担当	仲井 雪絵,井上 吉登,加藤 ともみ,黒田 梨乃,齋藤 奈々子,中島 知佳子,中村 州臣					
学修範囲(事前事後学修)						
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						